

参加する！ 認知症支援

◆キーワードは「おもしろまじめ」◆

矢巾町地域包括支援センター

認知症地域支援推進員 鱒沢陽香

総人口	65歳以上人口	高齢化率
27,134人	6,342人	23.4%

平成28年4月1日現在

♪ 町の花・鳥・木



ゆり



かっこう



まつ

面積 67.32km²

矢巾町は高齢化率で見ると、岩手県内で2番目に若い町です。面積の小さな町ですが、新しく開発の進む地域と、農業の盛んな古くからの地域が混在しています。高齢者・認知症の人の数も増加していて、地域差が大きくなっています。

日常生活圏域 1 圏域

矢巾町地域包括支援センター（委託）



平成24年10月から

認知症地域支援推進員を矢巾町地域包括支援センターに1名配置し、認知症支援の取組みを始めています。

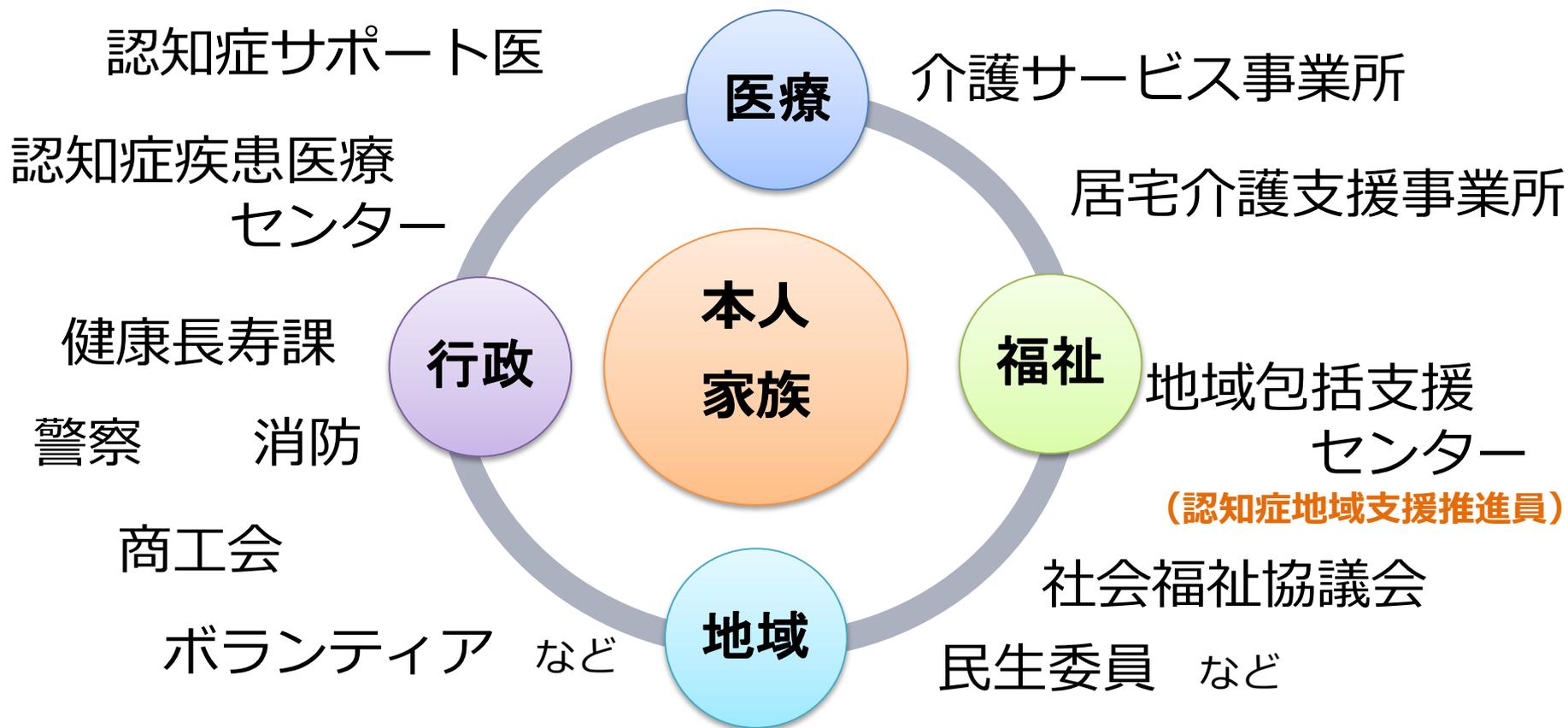
ケアマネ 事業所	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	訪問看護	訪問リハ	訪問入浴
7	2	3	1	2	1
訪問介護	通所介護	通所リハ	グループ ホーム	小規模 多機能型	介護療養型 医療施設
5	11	2	2	1	1



やさしさはばたく



認知症支援ネットワーク連絡会



◆ アンケート調査を実施

わが町の課題とニーズの把握



1. 調査の目的

- 認知症事業を進めるにあたり、町内の認知症高齢者に関わる家族・介護サービス事業所・地域等の意識や現状を把握し、今後の認知症対策の課題の整理に向けた参考資料とする。

2. 調査の種類

- ① 認知症在宅介護者へのアンケート調査
- ② 介護サービス事業所へのアンケート調査
- ③ 民生委員へのアンケート調査

医療と介護の連携が不足

深刻になってからの
相談が多い

医療連携 認知症ケア検討部会

他の職種の人と
知り合いたい

もっと学びたい！

相談機関が
知られていない

やさしさはばたく 認知症支援ネットワーク

徘徊が心配

運転の悩み

地域住民の認知症
への関心が薄い

地域の見守りを
してほしい

サポーターが少ない

医療連携・認知症ケア検討部会

- ・ 医療と福祉、介護の連携をスムーズにする
- ・ 認知症介護に携わる人材育成とケアの向上

主な活動内容

- ・ 認知症ケアパスの作成
- ・ 情報共有ノート
- ・ 多職種協働の研修会・事例検討会の開催
- ・ 認知症介護新人研修
- ・ サポート医による勉強会
- ・ 認知症疾患医療センターとの定期連絡会議
(サンドイッチの会 平成27年度3回開催)



多職種合同研修会
認知症ライフサポート研修
(2015.8.19 ケアセンター南昌)

認知症の早期から終末期に
至るまでの長い道のりを、
切れ目なく支えていく
多職種協働のチームづくりを
目指すもの。



サンドイッチの会

(2015.12.8 ケアセンター南昌)

認知症疾患医療センターとの
定期的な連絡会議。
医療職を含めた多職種協働で
勉強会を行います。



医療と介護の連携が不足

深刻になってからの
相談が多い

医療連携 認知症ケア検討部会

他の職種の人と
知り合いたい

もっと学びたい！

相談機関が
知られていない

やさしさはばたく 認知症支援ネットワーク

徘徊が心配

運転の悩み

地域住民の認知症
への関心が薄い

地域の見守りを
してほしい

わが町つながる部会

サポーターが少ない

わが町つながる部会

- ・ 認知症の理解促進
- ・ 認知症サポーターの養成



主な活動内容

- ・ 矢巾町キャラバン・メイト連絡会 結成
～「認知症サポーター養成講座」の活性化～

- ・ ステップアップ講座を実施
おれんじボランティアを養成
～認知症の取り組みに主体的に参加～



- ・ 矢巾町認知症セミナーの開催

矢巾町キャラバン・メイト連絡会結成！

(2013.7.25 さわやかハウス)



- ◆毎月、定例会を開催
(スキル向上のための勉強会・情報交換)
- ◆町の健康福祉祭など各種行事への参加
- ◆今後、新しい社会資源を作り出すパートナーに

平成25年 結成当時

メイト数	16名
サポーター数	662名
総人口に占める割合	2.478%

平成28年 9月

メイト数	32名
サポーター数	3,406名
総人口に占める割合	12.5%



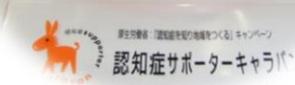


矢巾町の
介護ヒーロー

ジューモンジジャー

小学校での
認知症サポーター養成講座

オレンジリングを
つけましょう！



にんちしょう
認知症
脳の病気
症状
あせる
考える
スピードが
おそくなる
計画を立て
て行動する
いらいら
わづれて
しまふ
悲しい
泣く
不安
おぼえら
れない
悲しい
時間や場所が
わからない
泣く
認知症の人の気持ち
自分のできることは
3つの「ない」
おどろかせない
急がせない

ジューミンジャーは

◆地域密着型サービス事業所連絡会◆

の取り組みです。

町内9事業所

介護老人福祉施設
グループホーム
小規模多機能居宅介護
認知症対応型デイ
小規模デイ

グループホーム
ユニットリーダー

小規模多機能
管理者



医療と介護の連携が不足

医療連携 認知症ケア検討部会

深刻になってからの
相談が多い

認知症支援開発部会

他の職種の人と
知り合いたい

もっと学びたい！

相談機関が
知られていない

やさしさはばたく 認知症支援ネットワーク

徘徊が心配

運転の悩み

地域住民の認知症
への関心が薄い

地域の見守りを
してほしい

わが町つながる部会

サポーターが少ない

認知症支援開発部会

- ・ 本人と家族介護者の支援
- ・ 地域性、時代、ニーズに合った支援の実施

主な活動内容

- ・ 認知症相談の強化… 介護まちなか相談所
- ・ 男性介護者の支援… 男の介護講座の実施
- ・ 認知症カフェ … 町内2か所で開催
- ・ 認知症予防教室
… 脳いきいき教室 (旅行、脳トレなど)
ごきげんサロン (男性高齢者のサロン)



認知症カフェ
就労支援事業所と共に



物忘れまちなか相談
地域密着型事業所の力を借りて



「男の介護講座」 やはば男闘呼組
町内のサービス事業所 男性スタッフの有志



認知症予防教室
社協さん、ボランティアさんと



医療と介護の連携が不足

医療連携 認知症ケア検討部会

他の職種の人と
知り合いたい

深刻になってからの
相談が多い

認知症支援開発部会

相談機関が
知られていない

もっと学びたい！

やさしさはばたく 認知症支援ネットワーク

徘徊が心配

運転の悩み

地域住民の認知症
への関心が薄い

安心安全おたすけ部会

地域の見守りを
してほしい

わが町つながる部会

サポーターが少ない

安心安全おたすけ部会

- ・ 行方不明者の予防と早期発見の仕組みづくり
- ・ 高齢者の運転について考える

主な活動内容

- ・ 見守りSOSネットワーク
「SOSネットワーク模擬訓練」
- ・ 高齢ドライバーに対して
安全運転・免許返納に関する啓発
- ・ 見守りボランティアの育成・支援（事務局運営）
「矢巾わんわんパトロール隊」

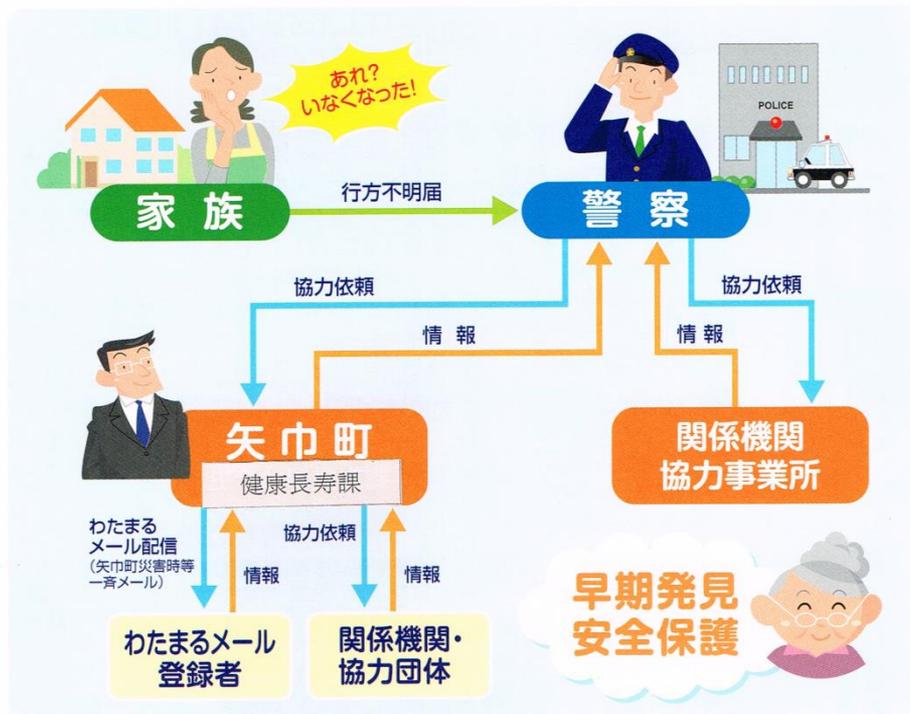


見守りSOSネットワーク

盛岡広域シルバーケアSOSネットワーク・システム

見守りSOSネットワークとは…

認知症の高齢者などが、ひとり歩きで道に迷ったり、行方不明になって捜索が必要となった場合に、警察と関係機関、協力者などが情報を共有し、連携をはかることで、早期発見と安全保護を目指すシステムです。



- 「いつのまにか外に出ていってしまう」「ひとり歩きで道に迷う」などの心配がある場合には事前の登録をおすすめします。
- わたまるメール (矢巾町災害時等一斉メール配信サービス) にご登録いただいて、見守り活動へのご協力をお願いします。

詳しくはこちらから

登録のご相談やお問い合わせは、矢巾町地域包括支援センターへ。



SOSネットワーク模擬訓練

(2016.10.1 新田地区)

- ・ 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症の理解を促進すること
- ・ いざという時に迅速に対応できるように、各自の役割と手順を理解すること



• 矢巾わんわんパトロール隊



2013年4月結成

隊員40名 わん隊員44匹



2016年 矢巾町健康福祉祭にて

・ わんわんパトロール隊とは

目的： 認知症に関する正しい知識を持ち、
地域の高齢者の見守りを行う。

活動： 見守り活動
月1回の情報交換会



隊長の荒川さん
隊長犬サラちゃん

- ・ 見守りSOSネットワーク協力
- ・ イベントの開催
- ・ 町健康福祉祭などの行事参加



入隊時に「認知症サポーター養成講座」受講を義務付け、
年に1回は全員で認知症に関する勉強会を行う。



セラピー犬
モモ隊員

隊員
木村 豊さん

お手柄！
わんわんパトロール中に
徘徊中の高齢者を保護し、
自宅に送りました。



毎日新聞
(地域版)
2014.5.30付

居宅サービス計画書 (2)

利用者名

事業所名：ケナフ介護支援サービスセンター

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容					
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	保険	サービス種別	サービス機関	頻度	期間
物忘れが進行しているため家族介護の負担が増大している。地域での見守りを行いながら、本人の状態を理解できる環境で過ごす事により安心して生活したい。	症状の理解を行い、安心して生活できる。	H28/ 4/11~ H28/10/31 7ヶ月間	見守りを受けた生活を行い介助を受けて安心して生活できる。	H28/ 4/11~ H28/ 6/30 3ヶ月間	認知症進行による行動理解、生活動作全般の声掛け	○	家族 通所介護	デイサービスセンター百万石 矢幅駅西口	適宜 2回/週	3ヶ月間 3ヶ月間
					排泄への声掛けや一部介助を行い行動の援助を行う	○	家族 通所介護	デイサービスセンター百万石 矢幅駅西口	適宜 2回/週	3ヶ月間 3ヶ月間
					現症状のため自宅外を徘徊する恐れがあるため行方不明になってしまった際に、早期発見や安全保護の連携できる体制を整える。地域での見守りを行い本人、家族の生活を包括的に支援する。		インフォーマルサービス	SOSネットワーク(矢巾町地域包括支援センター)	適宜	3ヶ月間
							インフォーマルサービス	わんわんパトロール(矢巾町地域包括支援センター)	適宜	3ヶ月間
部屋に閉じこもるだけでなく他者との交流の機会を持ちたい。	一日のリズムを保ち日々の生活を規則正しく送る事ができる。	H28/ 4/11~ H28/10/31 7ヶ月間	外出の機会を持つ事で生活のリズムをつける。	H28/ 4/11~ H28/ 6/30 3ヶ月間	余暇活動介助	○	通所介護	デイサービスセンター百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間
					レクリエーション、軽運動	○	通所介護	デイサービスセンター百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間
					季節行事や外出の参加	○	通所介護	デイサービスセンター百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間
心身の清潔を保つ環境があればよい。	定期的な入浴、清潔な環境に身を置くことで生活に意	H28/ 4/11~ H28/10/31 7ヶ月間	介助を受けて生活を保つ事ができる。	H28/ 4/11~ H28/ 6/30 3ヶ月間	洗身、洗髪一部介助	○	通所介護	デイサービスセンター百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間

第1回 YAHABA わんパトフェスタ



トレーニング教室 Dog training school

- トレーニング教室 (30分) 10:30~、13:00~
講師: 福山永江 (あそぼう♡タロちゃん)
ほえる、かむ、言うことを聞かない犬のしつけに
苦労する家庭は多い。室内犬の飼育も増え、家庭の
一員として存在感が高まる今こそ、数少ない公認
訓練士として、飼い主の悩みに応えたい。
- 災害救助犬デモンストレーション (30分) 11:30~、13:30~
災害救助犬ネットワークで認定されている現役の災害救助犬たちが
日頃の訓練をお見せします。
岩手県内で唯一の小型認定犬 (ウメちゃん) も来るよ。



トリミング教室 Dog grooming school

- トリミング教室 (随時受付) ※お断りされるため人数に限りがございます

わんこの健康相談 Dog health consultation

- 健康相談 (随時受付) ※お断りされるため人数に限りがございます

カフェコーナーOPEN!!

あさあけの園さんによる「コーヒー、クッキー、ケーキ」等の販売を
行います。

「ほにほに亭」が来店!!

“ほにほに亭”が富古からやってきます!
三陸の海の幸をふんだんに使った、わんこ用のおやつを販売します。
・太鼓判 ・ほにまるくん ・おさかなクッキー ・うまうまジュレ汁

わんわんバザー用品募集!!

10月30日の矢巾町健康福祉祭で使用する「バザー用品を
募集しております。
ご不用になったペット用品 (洋服、リード、おもちゃ等) がございましたら
フェスタ当日にご寄附をお願いします。
愛犬家の輪を広げましょう。

わんパトサポーター募集!!

わんパトフェスタ当日のボランティアスタッフを募集しております。
わんこが好きな方大募集!! 下記までご連絡ください。
TEL: 019-697-5570 (平日9時~17時)
E-mail: otasuke777@equa.ocn.ne.jp
矢巾わんわんパトロール事務局

2016 入場無料

日時: 平成28年
9月25日(日)
AM10:00~14:30 (雨天決行)

10:00~ 開場
10:30~ トレーニング教室
11:30~ デモンストレーション
13:00~ トレーニング教室
13:30~ デモンストレーション

場所: 矢巾南公園 (不來方)
Map



矢巾わんわん
パトロール警備犬
公認セラピードッグ
ブルーヒーローニース
“ももちゃん”
も待ってます。
遊びに来てね!!

~矢巾わんわんパトロール隊は、地域で暮らす高齢者を見守るボランティアです~





道ですれ違う小中学生が
「わんパトのおばちゃん、こんにちは！」
と挨拶してくれるようになりました。

今まで認知症について考えたことも
なかったし、他人事と置いていましたが、
小さなことから始めることができる、
人の役に立つことができる、と感じました。



認知症の私と輝く大賞2016

「認知症の私と輝く」
大賞発表フォーラム

平成28年2月27日（土）

サンケイプラザホール





**参加してもらわないと
はじまらない！**



- **いつも同じ人、関係者だけの
取り組みになっていませんか？**



**「認知症支援」は
「まちづくり」です！**



- **高齢者福祉の担当課だけで
すすめることはできません！**

◆ 違う角度から考える、新しい視点



新しいものを作るばかりではなく
既存の組織・仕組みを見直してみる。
視点を変える。つけ加えてみる。

◆ 枠を飛び出し、壁を壊す



時には、所属や肩書など、
これまでの枠組みから飛び出さないと、
成しえないこともある。

地域の力は必ずあります！

RUN伴2015
チームやはば

